

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家せとうち館			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	20人
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 4日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者の満足度の高さ	良かったことや成長が感じられることを伝えられるようにしている。 ちょっとした変化やケガなどもすぐに伝え、安心してご利用いただける環境を作る。 共感的関わりを意識して、楽しみながら利用できる場になっているようにしている。	ひとりひとりに合わせた専門的な支援に取り組めるように、 従業者のスキルの向上をはかる。 よりお客様のニーズに合わせた細やかな支援計画を作成にその計画に沿って専門性の高い療育を行う。
2	スペースが確保されていること	色々な活動によって空間を分ける。 片付けや整理整頓を行い、スペースを確保している。 様々なグッズを用意し、多様な活動ができるようにしている。	必要な構造化を進める。 こどもに分かり易く提示する。 片づけやすさも考えて設定する。 動線を意識する。 公園や図書館など、外部スペースの利用を積極的に行う。
3	様々な活動プログラム	こどものやりたいことを実現できるように留意している。 全員が経験を積み重ねできるようにしている。 季節に合わせた活動の立案をしている。 5領域とのつながりを考えて立案している。 子どもも交えて、活動を一緒に考えている。	やりたいことを実現するための機能を育てる。 より知識を高めるための研修や勉強の機会を持つ。

本社内の内部監査室における内部監査は2025年2月に

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の不十分さ (保護者会やペアレントトレーニング)	時間確保の調整不足	今年度は夏休みに任意の参観日を設定させていただいた。継続的に実施できるように立案する。 法人全体で考え大きなイベントの開催を計画していく。 ブログなどで情報発信する。(ペアレントトレーニング等)
2	外部とのつながりが薄い。 (地域の他のこども施策との関わりなど)	人員不足 児童館など資源の不足 他事業所との関係が十分ではない	地域のイベントへの積極的な参加。 地域のひとに知ってもらうための情報の開示。 行政が参加する会議での積極的発言が必要。児童館などの必要性を訴える。
3	チームでの活動の立案とより専門的な活動、支援	業務量の多さ 準備に時間がかかる それぞれの予定が合わず、接見できない。 専門的な研修の開催が不十分である。	デジタルで共有する機能の強化。 業務の優先順位付けと取捨選択。 PDCAサイクルの意識付け。 外部及び内部で行われる研修への積極的参加

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

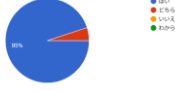











事業所名 さわやか愛の家せとうち館

公表日 年月日 2024年11月1日

利用児童数 24名(うち4名は兄弟)

回収数 19部

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1.子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない		人数に対して狭いように感じる	発達支援室は45.6㎡となります 施設見学を含めた情報公開を進めるとともに、利用者様の期待に実態に合わせたスペースを引き続き確保して参ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。	2.職員の配置数や専門性は適切であると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない		いつも適切対応をしてもらいとても感謝しております	引き続き職員の専門性を高め、利用児童様や保護者様に安心してご利用いただける環境を整備してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3.生活空間は、こどもにわかりやすく構造化され、等への配慮が適切になされていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない		バリアフリーではないと思いますが、一軒家ならではの良さがあたたかいとおもいます。万が一のケガに備えてガラスに飛散防止フィルムが貼ってあるのが気になります。 二階への階段の滑り止めがほしい	ご意見ありがとうございます。ガラスには万が一の時のため飛散防止フィルムを貼っております。階段など転倒を防ぐため、危険箇所には必ず職員が同行するよう徹底して参ります。階段も滑り止めを貼ってはありますが、より強力な滑り止めを検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4.生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に、の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			玩具の置き場などに関しては、職員間で協議し改善を行ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5.こどものことを十分に理解し、こどもの特性等、専門性のある支援が受けられていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			専門職の確保を進めながらも、専門資格職によらずどの職員でも様々なニーズに対応できるように積極的に専門性を学ぶ機会を持ちます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6.事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない		連絡帳などで、活動だけでなくどのような療育を行ったかなど知らせていただけると嬉しいです。	利用児童様ならびに保護者様の実態やニーズに照らし、柔軟に支援プログラムの構成に創意工夫を凝らしてまいります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7.こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の、（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			作成プロセスを含めた開示と、丁寧な説明を心掛け、安心してご利用ができる環境整備に努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8.放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインが設定されていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			サービス計画には、ガイドラインに沿った内容を組み込み、ご本人と保護者の方のニーズに沿った計画を作成するように心がけております。また支援の方法は具体的な内容を記載しております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9.放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			支援計画の更新の際には、保護者の皆さまにお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。計画を基に、事業所内での支援を行い、お子様の「できた」を増やして参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10.事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない		回長期休みの時にはいろんなイベントを考えてもらっていて助かってます	5領域の視点を網羅した活動内容となるように日々設定してまいります。また似た活動であっても目的やねらいを細かく差別化し、違った効果が得られるように常に創意工夫を凝らしてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11.放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 20件の回答		はい どちらでもない いいえ わからない			現在、他施設や関係機関との目立った交流活動は行うことができておりません。地域の施設の利用や公園などでの間接的な交流は日々の活動の中で行っております。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<p>12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プロ、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 20件の回答</p> 		引き続き、契約時だけでなく改定時やご相談があった際には丁寧な説明をおこなってまいります。ご不明点がございましたらなんなりとお申し付けください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<p>13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 20件の回答</p> 		支援計画に関しては、半年間のモニタリングの中でできるようになったこと等を評価し、お子様が成長できる計画を作成していきたいと思っています。また、本人・保護者の方のニーズに沿った計画の作成を今後も行って参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<p>14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム、研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 20件の回答</p> 		今年度は夏に任意の参観日を行わせていただきました。ご参加いただきましてありがとうございます。保護者の方同士が交流できる場を来年度は計画していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<p>15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、...の状況について共通理解ができていると思いますか 20件の回答</p> 	細やかに連絡をいただいております。いつもお話を聞いて頂き助かっております。	心身の発達の状況や家庭や学校での姿など、些細な事でもお伝えいただけるように努めてまいります。一緒に悩み解決をしていければと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<p>16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか 20件の回答</p> 		どのような相談であっても随時受け付けております。もし開所時間を過ぎていてもLINE等を活用し24時間受付できる体制を整えております。お気軽にお問い合わせください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<p>17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか 20件の回答</p> 		家庭での育ちを第一に考え、少しでもお力添えになれるように尽力してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<p>18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、...など、きょうだいの支援がされていますか。 20件の回答</p> 	保護者の交流があると思う	現在要望をお聞きしながら、保護者階の開催を含めた交流の機会の企画を進めております。今後開催時期や形態などアンケートのお願いを行いますのでご協力いただけますと幸いです。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<p>19 こどもや家族からの相談や申入れについて、...入りをした際に迅速かつ適切に対応されていますか 20件の回答</p> 		相談等につきましては訪問、電話、SNS等いずれの方法でも受け付けております。送迎の職員にその旨をお伝えいただけましたら、責任者がご連絡いたします。また苦情に関しましては事業所のほか本社や、重要事項説明書に記載しております第三者機関への連絡先も示しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	<p>20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 20件の回答</p> 		メッセージアプリや連絡帳、電話を主に使用しておりますが、今後とも様々な方法での情報伝達の方法を検討していきます。また特別の配慮が必要な場合は、機器や技術の習得、職員の採用などを進め、適切に対応してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	<p>21 定期的に通信やホームページ・SNS等で活動、結果をこどもや保護者に対して発信されていますか 20件の回答</p> 		ブログ、HP、SNSなどの媒体で情報提供を行っております。活動内容だけではなく様々な情報をお伝え出来ますよう今後とも改善を進めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	<p>22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 20件の回答</p> 		引き続き、ご安心していただけますよう個人情報の取扱いにつきましては細心の注意を払ってまいります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	<p>23 事業所では事故防止マニュアル、緊急時対応、...発生を想定した訓練が実施されていますか。 20件の回答</p> 	防犯カメラがないので、玄関付近に設置してほしい	策定されておりますマニュアル類を玄関にファイリングしております。ご自由に閲覧してください。また訓練につきましても、ブログ、HP等で開催、結果のご案内を行ってまいります。また、防犯カメラの設置も法人と検討してまいります。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	<p>24. 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>		火災、風水害、震災、防犯など各種訓練を定められた規程通りに実行しております。状況や結果についてはブログ等で公表していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	<p>25. 事業所より、こどもの安全を確保するための...に行われた上で支援が行われていると思いますか。 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>		災害や自動車運行、行事など各種取り定めた計画について、様々な方法で周知をしていくほか環境に合わせて柔軟的に見直しを行い、安心安全にご利用いただける事業所運営を行ってまいります。安全計画を保護者の方にも配布させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	<p>26. 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事...の状況等について説明がされていると思いますか 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>		事故の場合はどのような規模であってもご連絡を差し上げるように定めております。その他にもトラブルや変更があった場合など安心してご利用いただくための説明を今後も徹底してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	<p>27. こどもは安心感をもって通所していますか 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>	いつも楽しく通わせてもらっています	ありがとうございます。今後とも安心安全に過ごせる場所の一つとしてご期待に応えられますように、運営体制やサービスの提供を整えてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	<p>28. こどもは通所を楽しみにしていますか 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>		ありがとうございます。今度とも様々なイベントの企画などを行い、楽しさを持って通所していただけるように工夫を凝らしていきます。やってみたいこと、してほしいことがございましたら、お気軽にお知らせください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	<p>29. 事業所の支援に満足していますか。 20件の回答</p> <p>● はい ● どちらでもない ● いいえ ● わからない</p>	色々な体験を取り入れた活動をしてくださりありがたいです。連絡帳を見るのがいつも楽しみです。	ありがとうございます。お子様一人ひとりに合わせた丁寧な支援を今後も行って参ります。より専門性が高い支援を行うため職員のスキルアップも目指して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
さわやか愛の家せとうち館		2025年11月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		児童福祉法の目安として1人当たり2.47㎡必要ですが、せとうち館の場合1人当たり4.56㎡の発達支援室となっております。	年齢や状態像によっても必要となる広さは変わってくるので、物理的な空間だけでなく、用途別のスペースの確保も努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		常時、必要とされる配置が確保されるよう送迎の順序等を考えております。緊急時には法人内での異動などにより職員数が確保できる体制を整えています。	現在5名、管理者兼児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員（教員・精神保健福祉士）、公認心理士での運営となっております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	食堂・ホール・運動の部屋等、部屋ごとによってこどもたちにもわかりやすいよう用途を分けています。また壁紙も部屋ごとに変えている。こども自身が環境を構成できるように必要以上の構造化は行っていません。	バリアフリー化に関しては、外階段・玄関にスロープを設置できておらず、また階段も急となっておりますので、滑り止めなどを強化していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		古民家を改修し移転を行ったため、施設自体は年季を感じるが、こどもたちが過ごすフロアや荷物を置くロッカー・ホワイボードの位置もこども目線に設置し、こどもたちが過ごしやすいように工夫しています。	ひとりひとりの子の好みや特徴を考えると十分ではないと感じられる部分がありますが、毎日の清掃などで清潔な心がけております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		複数の部屋を状況に応じて臨機応変に活用できるように体制を整えております。	時間や対応する職員で多少変わってしまう部分があるが、個室が2階に3部屋あるため、必要であれば個別での場所を使用できる環境となっています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		支援内容だけでなく様々な業務の改善のためのPDCAに、すべての職員が公平な立場で参加できる運営を行っております。	現在もPDCAサイクルをまわし、日々の業務改善を行っています。今後もミーティング内容等工夫行っていく予定です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年10月に保護者の方に自己評価アンケートを実施しています。SDGsの観点からもペーパーレス化としGoogleフォームを使用したアンケートとなっています。（保護者のみ）	毎年、お忙しいところご協力いただきまして、保護者の皆様には感謝しております。また今回も前年に続き、回答率100%となりました。ありがとうございます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		朝礼ミーティングにて、日々の業務や支援内容に関する情報交換を行っています。	職員全体の意見交換の機会は設けているが、管理職との1on1ミーティングも定期的に開催し、より深堀し業務改善や働き方改革を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	本社内の内部監査室における内部監査は2025年2月に行われます。また行政の実地指導に関しては2025年10月21日に行われました。	本社による内部監査は行われるが、第三者による外部評価は事業所単位では行われていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月1回、愛の家全施設によるスキルアップ研修を開催されています。また、スキルアップ研修以外にも、虐待防止身体拘束廃止研修、緊急対応訓練研修、BCP研修など、安全計画に策定された研修を行っています。	研修を行っているが、全職員の資質の向上になっているかに関しては個人差があると感じられる。受け身の姿勢ではなく、より積極的に学ぶ姿勢の職員の育成に努めることが必要である。より一段階上のレベルを目指します。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児童福祉法に則って、支援プログラムの作成を昨年行いました。	前年度より作成を行い、HP上に公表しております。また、アプローチブックでも、愛の家せとうち館の支援内容がわかるように記載しておりますのでぜひご参照ください。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者様との面談の際には、丁寧にアセスメントを行い現状分析を行い課題やニーズの抽出を行っています。その内容を踏まえ、お子様に沿った支援計画を細かく作成しています。	十分に客観性が保たれているかということに関しては疑問の部分がありますが、アセスメント、モニタリング、支援経過記録を参考にし作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全員がガイドラインにもあるこどもの最善の利益を日々念頭におき、こどもたちと関わっています。	こどもの意向を反映した計画を作成しているが、保護者の方のニーズも組み込み家族を含めた計画を今後も作成していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		原案の作成後は、原案見直し会議を職員全員で行い支援内容の共有を必ず行っています。	計画に関しては、職員がどのように支援を行い、その結果はどうであったかの支援経過記録を丁寧に記載することもモニタリングの際非常に重要なため、時間をかけ行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4	必要に応じてICFのフレームワークや社会生活能力検査を参考にしたアセスメントなどを使用するほか、日々の観察を多職種間で分析しております。	心理士が配置されておりますので、より専門的なアセスメントなどを行うことができるようにしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインにのっとった計画の作成を行っております。計画の中にはそれぞれの支援の項目を示し、目標を達成するための支援内容を設定しております。また、専門用語は使用せず、誰が見てもわかる文言での作成を心がけています。	地域の資源の活用や関係機関との連携の在り方を深めて、よりよい支援を構築していきます。事業所と家庭だけでなく地域社会全体での育ちをサポートできる体制を整えてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	職員が立案を行いその後児童発達支援管理責任者への確認及び、職員全体への活動内容の周知・打ち合わせをその都度行っています。	立案、検討、検証、実施、フィードバックなどのPDCAサイクルをより高速で回すための仕組みづくりに取り組みます。

へ 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		買い物活動・おやつクッキングは週に1度ローテーションで子どもたち全員が参加できるようにしている。	おやつクッキングや買い物活動などは、経験度合や発達度合に合わせて目標を変化させていくことで、子どもたちの生活スキルを向上できるようにしていきます。また、毎回の活動に楽しく参加できるように今後も工夫していく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		支援計画には、こどもの発達に合わせ集団活動で行う支援内容、個別での対応で行う内容を職員が具体的にわかるように記載されている。集団・個別ともに組み込まれています。	専門的支援実施を行うことができる職員を2名配置しておりますので、ご要望があるお子様には専門的支援を個別で行っています。支援内容の欄にも、個別、集団どちらも含まれた内容記載をしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼では、本日の注意事項・タイムスケジュールの確認を行っています。	管理者が会議などで、打ち合わせに参加できない場合があるためその際は、伝達対応で職員全員に情報がわたるよう今後も行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		翌日の朝礼の際に、前日の活動内容の振り返り・ヒヤリハットの共有を行っています。	振り返りに関しては、なぜそうなったのかという原因を分析し、次回同じ事がないようにしていき、また良かった点に関しては、成功要因も記録し次回に生かします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々の記録に関しては、支援経過記録に記入を行っており、こどもの行動に対しての職員の対応、対応後の変化や行動から見える成長や課題など細かく記録していき、モニタリングに反映しております。	支援計画の記録までに時間が空いた場合、職員の記憶があいまいになる事があるため、その日または翌日には必ず記録を行っています。より詳細な内容の記録を行います
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年ごとにモニタリングを行い計画の更新を行っています。すべての従業者が参画し適切な見直しとなるように努めております	長期的な展望を見据えながらもより短いスパンでの達成目標の検討も必要に応じて随時受け付けております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」の4つの組み合わせを満遍なく集団活動に取り入れております。	各活動のバリエーションを多様なものとするほか、こども自身の選択を中心に構成できるようにします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		事業所が用意したカリキュラムに沿って行うものだけでなく、参加の可否や意思の表明の機会、活動の設計などこどもの声を聴いて行っております。	計画段階から意見をくみ取り自己効力感をもって支援に参加できる構成にします。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		管理職の他、普段の支援に携わる職員も参加しております。	実際の支援の場面の充実の他、より一層の理解の強化のための研修などをおこなっております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の様々な社会資源を活用して支援を行っております。	積極的に情報収集や協力要請を行います。地域に対しても窓口の公開や協力体制を整備して、地域の中での事業所運営を進めます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		利用日の情報や下校時間など学校との情報共有を行っております。送迎の遅れについては必ず連絡をしております。	保育所等訪問事業などの活用も検討しながら、学校との密な連絡や情報共有に努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		関係機関への聞き取りや情報のやり取りを必要に応じて密に行います。	普段から連絡を行うなどして、良好な関係作りに取り組みます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		担当者会議の開催や相談支援員を通して随時必要な情報提供を行っております。	必要な情報を整理して、スムーズな移行ができるように体制を整えてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		開催される研修会への参加を行っております。また必要に応じて助言等が受けられる体制を整えております。	積極的にスーパーバイズを要請し、地域の中での役割を果たすことができるように体制を強化してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	他の事業との交流は現在行う事ができておりません。	現在瀬戸市内には、児童館がありませんので要望がある旨は伝えております。児童発達支援センターや社会福祉協議会などを通じて幅広くこども同士の交流の機会をもてるように支援します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		管理者が必ず参加しております。	協議が必要な議題などを積極的に提案し地域の一人として役割を果たしてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の送迎時では、その日の出来事や様子などの伝達を毎回行わせていただいております。また電話やメッセージアプリ等での相談を通じて随時共有しております。	様々な方法での情報共有を模索しつつ、発達の状況や課題等多様な情報の共有理解ができるようにしてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	特定の研修や訓練などを実施することはできておりませんが、要望に応じて個別に助言等させていただいております。	保護者の方に配布できるようなお便りを、計画的に開催する体制を整えてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時や各種の情報が変更になった際には、説明文の配布と同意をいただくなどしております。	HPへの掲載だけでなく、多様な手法にて情報が確実に届く体制作りを強化してまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		計画の作成や変更の際には近況等のお話を聞かせていただき、ご意向やご意見を反映させることとしております。	より一層最善の利益の保障のために、意見を聞く機会だけではなくどうすれば叶えることができるかを考えます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画に基づき支援内容のご説明をさせていただき、同意のもと支援を提供しております。	より詳しく内容の説明や分かり易い項目設定にするなどの工夫を随時行っていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	ご相談があれば随時お話をうかがう場を設けております。お気軽にお問い合わせください。	よりいっそう窓口を明確に示し、どのように相談を行えばいいかなど、身近にお問い合わせしていただける体制を作ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		今年度は、夏休みに任意の参観日を行いました。	保護者会の開催や意見交換会、コミュニティイベントなど、行事と合わせて利用者本人だけではなく家族の方々等も楽しめる事業所運営を行ってまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		受付担当のほか、どの職員にお伝えいただきましても適切に届く体制を整えております。事業所だけでなく法人全体として取組み、改善させていただいております。	業界や法人全体での情報公開をしていける体制作りを行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		各種方法を用いて必要な情報提供を行っております。	確実にお届けできる方法を常に模索します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		写真などの同意を得られている場合であっても、使用の際には必要に応じてお声がけさせていただいております。	法律に則った個人情報の使用はもちろんのこと、安心してご利用いただくための指針の強化を行います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		それぞれの専門性に基きまして、必要な配慮を心がけております。	手話やコミュニケーション機器などの技能の習得をし、より幅広いニーズに応えられる体制を整えます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	町内会長を通じて地域の行事への協力をさせていただいております。	積極的に行事を計画したり参加を促したりして馴染みやすい取組みを行ってまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		安全計画に基づいて各種の研修、訓練を実施しております。各種マニュアルは施設玄関に誰も閲覧可能です。	実態に合ったマニュアルの整備を行い、訓練を通して常により良い物にしていく努力をしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		自然災害、感染症対策に関するBCPを備え、必要な訓練や研修を随時実行しております。その際、防災士による指導を受けております。	専門家の意見をうかがい、幅広い訓練を行いながらより有効な業務継続計画の作成と運用を行ってまいります。また業務継続マネジメントができる人材育成に取り組みます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		半年に一度、健康状態や生活状況についてお聞かせ願っております。	各種の支援ができる人材育成のために、服薬やてんかん発作などの研修や訓練を行ってまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		実情としましては医師からの指導を必要とするレベルの方のご利用はございません。備えとしてはアナフィラキシーショックの際の対応の研修や訓練を実施しております。	「学校生活管理指導表」を共有しそれに基づいた対応を進めます。調理場や提供状況の整理をし、アレルギーの方の受け入れについても万全を整えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		自然災害、感染予防、防犯、車両運転、支援提供中の事故など様々な観点から起こりうることに對して法人全体の知見の元、取り組んでおります。	安全計画についても不断に見直しを行い、訓練を通じて、より安全安心にご利用いただける環境を整備してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		施設内に誰でも閲覧可能な状態で保管（玄関）しているほかHP上でも開示しております。	公開だけではなく、どれだけの方に届いているかの把握を含め広く周知いただけるように努めます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		毎日前日の出来事を報告、集約し、週に一度会議にて原因分析と改善を行っています。	職員間でのヒヤリハットの共有、分析、対策機能を強化し、より強固な安全対策のための体制を整えてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		やむを得ず身体拘束を行う場合であっても、必要最小限かつ人権の保障の為、必要な研修や訓練を実施しております。	不適切な関わりについても常に意識し、安心してご利用いただける環境整備に取り組んでまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束を行わざるを得ないケースを想定し、可能性があれば必要最小限度の範囲で計画に反映しています。	より精密な状況の想定や身体拘束解除までの道筋を明確に示すなど体制を強化していきます。フローの作成を法人で作成しています。